

室内試験規格・基準委員会 WG8 特殊土の試験 第3回議事録

日 時	平成20年7月10日(木) 17:00~18:30
場 所	地盤工学会 3F 会長室
出 席	三浦清一(北海道大), 石川達也(北海道大), 風間基樹(東北大), 北村良介(鹿児島大), 林宏親(寒地土木研究所), 八木一善(岩田地崎建設), 片桐雅明(日建設計), 仙頭紀明(日本大学), 鈴木恵三(南九州大学)

議事録担当: 石川達也 WG幹事

配布資料:

資料3-1 : 室内試験規格・基準委員会 平成20年度第1回議事録

資料3-2 : 赤本解説等執筆状況調査票

資料3-3 : 赤本の改訂作業に関する編集工程(修正版)(事前PDFファイル配信)

資料3-4 : WG8特殊土の試験目次(案)

資料3-5 : WG8特殊土の試験一次原稿(案)(事前PDFファイル配信)

議題:

【審議事項】

(1) 改訂作業の状況説明 (資料3-1~3)

三浦グループリーダーから、赤本改訂の経緯など会議の趣旨について、説明があった。続いて、石川WG幹事から、資料に基づき他WG等の赤本の改訂状況、改訂作業に関する今後の編集工程・作業内容などが説明された。その後、以下のような質疑応答があつた。

a) スケジュールについて

- ・ H20年6月末が親委員会への一次原稿提出期限であるが、7月11日(金)開催予定の親委員会で編集工程が審議される予定のため、決まり次第WG8メンバーに連絡することを確認
- ・ 本会議での指摘事項等を考慮した一次原稿(最終版)の作成は、親委員会の編集行程が決まり次第、WG幹事より連絡することを確認
- ・ WEB上にアップロードされている他章の一次原稿をもとに、各担当者が関係する試験方法について矛盾がないかを照合することを確認(サイトへのアクセス方法についてはWG幹事より後日案内)
- ・ 他章の情報交換、他章との整合性の確認については、WG幹事を通して親委員会で実施し、重要な情報は隨時WG各位に伝達することを確認

b) 原稿の執筆について

- ・ 一次原稿の書式については、他WG作成原稿と比較し差異がないかを確認する
- ・ 現在の赤本に掲載されている図面については、後日、印刷業者よりデータが渡されるとの親委員会の見解を再度確認

(2) 一次原稿(案)の内容説明 (資料3-4, 5)

各章執筆担当主査から、一次原稿の改訂内容(旧版赤本からの改訂あるいは第2回WG8打合せからの変更内容)について以下のようないい説明があつた。

a) 第 1 章 概説

三浦グループリーダーより、一次原稿の執筆方針について以下のような説明があった。

- ・ 本編は特殊土の試験方法の説明を主として行うものであることを記載する
- ・ 今回の改訂で、火山灰質細粒土と火山灰質粗粒土に分けるなどこれまでの章組を変更した経緯について執筆する
- ・ 各種特殊土（高有機質土、火山灰質土など）の分布については、第1章にまとめて執筆する

審議内容

- ・ 火山灰質粘性土、火山灰質細粒土の本編での扱いについて討議した結果、今回の改訂では、火山灰質細粒土と呼称することになった。なお、本件については、「第2編 地盤の工学的分類」との整合性を確認することにする。
- ・ 第1章の一次原稿を作成後WG8各位に配信し、各章執筆担当主査が担当章との整合性を確認し、一次原稿の記載内容を変更することになった。

b) 第 2 章 高有機質土

林委員より、前回の一次原稿から以下のような改訂を実施した旨、説明があった。

- ・ 前回の審議内容に沿って一次原稿を修正
- ・ 原稿書式を提出用書式に変更

審議内容

- ・ 記載のない高有機質土については、まえがきでその理由等について記述を加筆することになった。
- ・ 「2.8.3 動的試験」を他章と同様、変形特性を求めるための繰返し試験に変更することになった。

c) 第 3 章 火山灰質細粒土

片桐委員より、以下のような改訂を実施した旨、説明があった。

- ・ 「3.2.5 安定化試験」を加筆
- ・ 「3.3 その他の火山灰質細粒土」で日本各地の火山灰質細粒土の説明を加筆
- ・ メールでの審議内容に沿って一次原稿を修正

審議内容

- ・ まえがきに火山灰質細粒土の定義などを第4章と同様、明確に記載することになった。
- ・ 火山灰質土の起源である火山を示す用語は、「給源」あるいは「給源火山」に、また、火山碎屑物（火碎物）は、「テフラ」に統一することになった。
- ・ 他章と同様、「変形特性を求めるための繰返し試験」に変更することになった。

c) 第 4 章 火山灰質粗粒土

八木委員より、前回の一次原稿から以下のような改訂を実施した旨、説明があった。

- ・ 「凍上試験」を「4.4 物理試験」に移動
- ・ 「4.2 日本各地の火山灰質粗粒土」で用語の定義を明確に説明

審議内容

- ・ 表8.4.13の掲載については、第4章担当者間で検討することになった。

d) 第5章 風化残積土

石川WG幹事より、前回の一次原稿から以下のような改訂が実施された旨、説明があった。

- ・ 前回の審議内容に沿って一次原稿を修正

【報告事項】

(1) 親委員会への報告

石川WG幹事から、当会議の審議結果について、7月11日開催予定の親委員会で報告することが説明された。

以上